

# 日野市・国分寺市・小金井市 新可燃ごみ処理施設建設に向けた状況をお知らせします

## ごみ処理施設建設基本設計がまとまりました



平成 24 年 11 月から、クリーンセンター周辺の住民の皆さまをはじめ、市民説明会などで説明してきました新可燃ごみ処理施設の建設（広域化）について、新施設の施設規模、排ガス処理方式、煙突の高さなどの基本条件を定めた「ごみ処理施設建設基本設計」がまとまりました。現在稼働している施設との比較を含め、基本設計の内容をご紹介します。なお、基本設計で施設の内容が決定するわけではありません。環境影響評価、詳細設計の中で、必要に応じて見直しを行っていきます。

### 1. 全体計画

施設	事業主体	事業手法
焼却施設 (エネルギー回収推進施設)	一部事務組合 (日野市、国分寺市、小金井市)	DBO（公設民営）方式 などを検討

### ③ 施設規模

	新 施 設	現 施 設
煙突の高さ	59 メートル	59 メートル
発電機的能力	4,500 キロワット以上（※1）	800 キロワット

※1：発電した電力は、新施設の場内で消費し、余剰電力は売電予定

### ④ 排ガス対策

排ガス対策については、全国でも最高度の排ガス処理設備を採用します。

#### ■ 排ガス濃度自主規制値（計画設定値）

項目	法律（※2）	新施設の自主規制値	現施設の自主規制値
ばいじん g/ m <sup>3</sup> N 以下	0.04	0.005	0.04
硫黄酸化物 ppm 以下	930	10	30
窒素酸化物 ppm 以下	250	20	150
塩化水素 ppm 以下	430	10	150
ダイオキシン類 ng-TEQ/ m <sup>3</sup> N 以下	現施設 ： 1 新施設： 0.1	0.01	0.5
水銀 mg/ m <sup>3</sup> N 以下	—	0.05	—

※2：大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法による規制値

### ③. 施設建設期間

平成 29 ～ 31 年度（本格稼働は平成 32 年度を予定）

## 環境影響評価を行っています

200 トン／日以上規模のごみ処理施設を建設する際は、東京都環境影響評価条例に基づき、環境影響評価を行うことになっています。

調査内容、予測評価方法などを定めた環境影響評価調査計画書を作成し、計画書の公告、縦覧、意見書の提出の手続きが 9 月に行われました。

そして、施設の建設が地域の環境に影響を及ぼすか予測評価するため、下記 14 項目について環境影響評価調査を実施しています。現況調査後、施設建設が環境に与える影響を予測評価し、評価書案の作成を行い、住民の皆さまに説明していきます。



#### 環境影響評価 14 項目

大気汚染、悪臭、騒音・振動、水質汚濁、土壌汚染、地盤、水循環、生物・生態系、日影、電波障害、景観、自然との触れ合い活動の場、廃棄物、温室効果ガス

### 施設建設に向けた今後のスケジュール予定

新可燃ごみ処理施設建設に向けた今後のスケジュール予定は以下のとおりです。

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	環境影響評価				
	一部事務組合設立				
	事業者選定準備	事業者選定			
		施設設計			
			施設建設工事		